



2022年12月6日

各位

会社名 協和キリン株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮本 昌志
(コード：4151 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
吉田 聡子
TEL：03-5205-7205 (メディア)
TEL：03-5205-7206 (IR)

減損損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月5日開催の取締役会において、以下のとおり、減損損失の計上及び本年8月4日の2022年12月期第2四半期決算発表時に開示した2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想の修正を決定しましたので、お知らせいたします。

1. 減損損失の計上

当社とMEI Pharma, Inc.は、本日、ホスファチジルイノシトール 3-キナーゼデルタ (PI3K δ) 阻害剤であるザンデリシブ(開発番号：ME-401)の共同開発の中止を決定しました。これに伴い、2022年12月期第4四半期連結会計期間において、関連する無形資産(仕掛研究開発費)について減損損失14,330百万円を「その他の費用」に計上することといたしました。

2. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上収益	コア営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400,000	77,000	79,000	63,000	63,000	117.22
今回修正予想(B)	400,000	77,000	65,000	53,000	53,000	98.62
増減額(B-A)	0	0	Δ 14,000	Δ 10,000	Δ 10,000	—
増減率	0.0%	0.0%	Δ 17.7%	Δ 15.9%	Δ 15.9%	—
(参考)前期実績	352,246	65,685	60,050	52,347	52,347	97.43

(注) コア営業利益は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「研究開発費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えて算出しております。

3. 修正の理由

「1. 減損損失の計上」に記載のとおり、2022年12月期第4四半期連結会計期間において、減損損失14,330百万円を計上することとしましたことから、通期の連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上